



OKAYA SILK MUSEUM

明治時代初期、岡谷の人々はイタリア・フランスから導入された洋式製糸機械に創意工夫を重ねた諏訪式繰糸機を開発しました。その技術は全国に普及し、この地で生産された生糸の多くは輸出され、「シルク岡谷」としてその名を世界に轟かせるなど一大製糸業地に発展。日本の近代化に大きく貢献しました。

こうした功績を後世に伝え、今後の産業発展に役立てるため、諏訪製糸研究会と全国製糸業関係者の協力を得て、昭和39年10月、市立岡谷蚕糸博物館が開館。製糸機械類、文書類、製糸経営史料等約3万点を収蔵・展示、一部が昭和41年に長野県有形民俗文化財に、平成19年には所蔵資料が経済産業省より近代化産業遺産に認定されました。さらに平成23年には日本機械学会より8点の繰糸機が機械遺産に認められ、その中にはフランス式繰糸機、諏訪式繰糸機など当館だけに見られる貴重なものが数多くあります。

開館から半世紀を経た平成26年8月1日、施設のさらなる充実をはかり現在の地に移転。新たに(株)宮坂製糸所を併設しました。博物館の愛称は、工場の(factory)と、シルクの真実(fact)から「シルクファクトおかや」とし、シルクを五感で感じていただける世界的にも類まれな博物館として生まれ変わりました。

先人の不朽の業績に学び、ものづくり精神と新たなシルク文化を発信していきます。



ご利用案内

Information

■開館時間 午前9:00～午後5:00
宮坂製糸所、まゆちゃん工房は 9:00～12:00、13:00～16:00

■休館日 毎週水曜日(その日が祝日の場合は開館)
祝日の翌日、12/29～1/3、その他臨時休館日あり

■入館料

区 分	個 人	団体(10名以上)
一 般	510円	410円
中 高 生	310円	210円
小 学 生	160円	110円

※岡谷市内・諏訪郡内在住の小中学生、岡谷市内在住の高校生無料。
※団体とは、総人員が10名以上をさします。



交通のご案内

- 電車の場合 JR中央本線岡谷駅下車 徒歩20分
- お車の場合 長野自動車道 岡谷ICから車で5分



Facebook



Twitter



Instagram



〒394-0021 長野県岡谷市郷田1-4-8

Tel.0266-23-3489 Fax.0266-22-3675

メールアドレス ☒ hakubutsukan@city.okaya.lg.jp

ホームページ <http://www.silkfact.jp/> シルクファクトおかや 検索



シルクファクトおかや

4条繰り諏訪式繰糸機

糸都岡谷ものがたり



■ シルク岡谷への出発

シルクとの出会い・糸都岡谷への道



絹文化の起源からカイコとシルクの秘密、蚕糸絹業のトータルプロセスなど、シルクの魅力に様々な切り口からアプローチ。日本の製糸業のあゆみとして横浜開港から富岡製糸場の創業、糸都岡谷の発展に至るまで、全国から岡谷に集まった工女さんの仕事や生活についてご紹介します。

■ 全国で唯一の製糸機械類の展示

機械でたどる糸都岡谷ものがたり



明治5年創業当時の官営富岡製糸場で使われ、唯一現存しているフランス式繰糸機や、武居次郎が開発した諏訪式繰糸機など、日本を世界一の生糸生産国にした製糸機械類を江戸時代から昭和期まで時代ごとに展示します。

■ 先人の偉業を多彩に展示

資料でたどる糸都岡谷ものがたり



厳しい蚕糸業の中で、たゆまぬ努力と創意工夫を重ね、先人の明をもって歩んできた先人達。その経営資料などから、糸のまち岡谷の歴史をたどります。岡谷の古い写真や地図などもあわせてご覧ください。

ワークショップスペース まゆちゃん工房

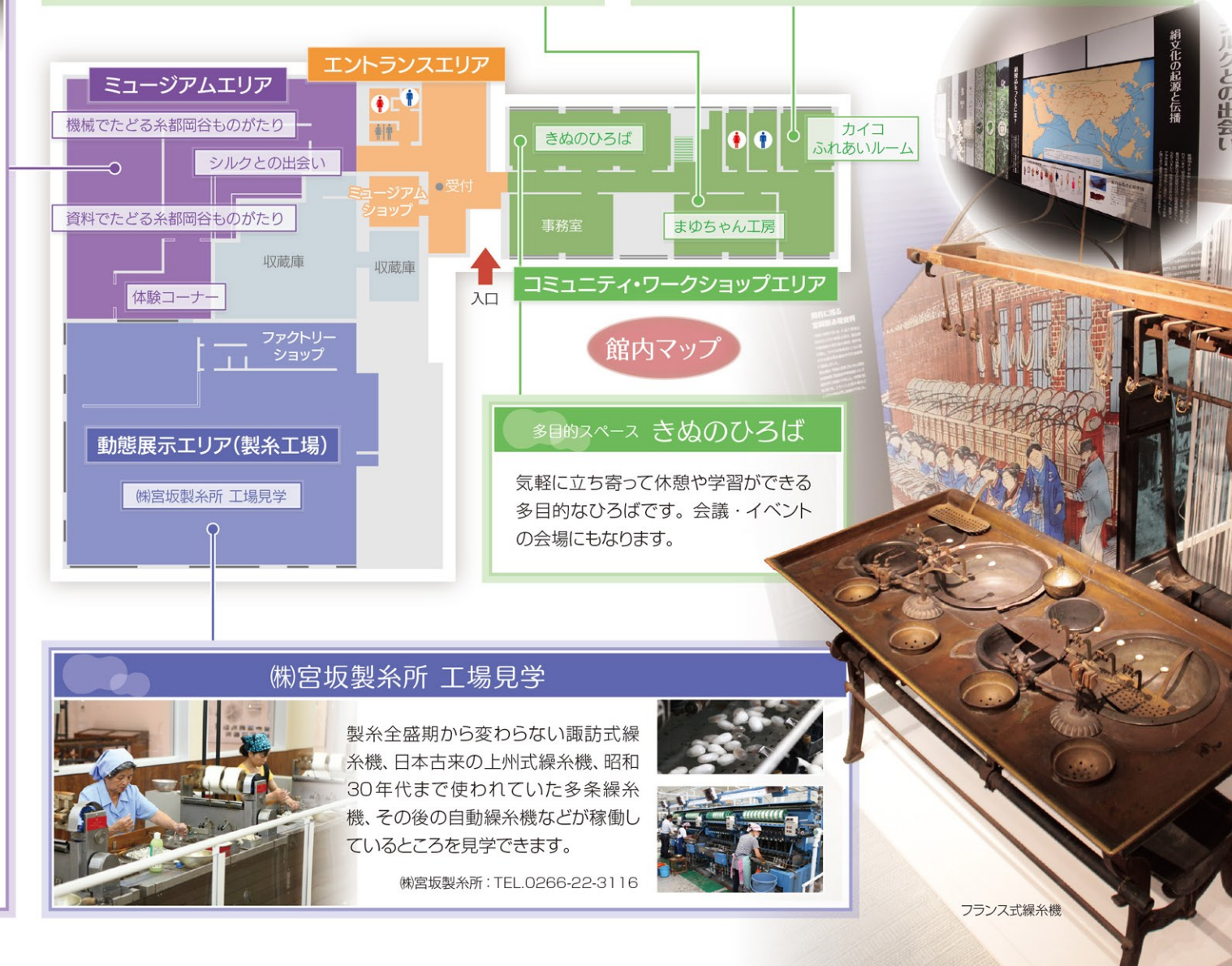


まゆ人形やコサージュなどの繭クラフトと、小型機織機はたおりきでの手織りができる体験工房です。まゆの質感や特性をいかながら作品作りにチャレンジ。季節の体験コースもあります。

養蚕スペース カイコふれあいルーム



シルクとなる繭糸を吐くおカイコさまの育つ様子や繭づくりの観察ができる、おカイコさまの秘密がいっぱいの部屋です。昔ながらの養蚕道具を使い、桑の葉のえさやりを楽しむこともできます。



(株)宮坂製糸所 工場見学



製糸全盛期から変わらない諏訪式繰糸機、日本古来の上州式繰糸機、昭和30年代まで使われていた多条繰糸機、その後の自動繰糸機などが稼働しているところを見学できます。

(株)宮坂製糸所 : TEL.0266-22-3116



フランス式繰糸機